

はじめにお読みください（顧問の先生用）

別紙「生徒の皆さんへ」もありますので、コピーして配付をお願いします。

1. 県高文祭写真展（県大会）について

「県高文祭」は、文化部の「県大会」に相当するもので、「県高文祭写真展」は「写真部の県大会」に相当し、次年度全国大会の県内予選を兼ねています。写真部門の県大会には地区大会はなく、最初から県全体での参加となります。

- ① 写真をA4サイズにプリントして、一次審査に提出（10月30日締切）→ 180点が選ばれる
- ② 一次審査通過作品を大きくプリントし直し、パネル貼りをして二次審査に提出（12月10日締切）
- ③ 二次審査で上位入賞作品が選ばれる。また、翌日からの写真展で180点が展示される。
- ④ 二次審査で上位10点に選ばれた1・2年生は、次年度の全国大会（来年度は石川県で開催）に出場する。

2. 要項の補足 ※ 必ず全項目を ☒ チェックしてください。

- ☐ 近年、特にスマホで撮影された作品で「一次通過作品を二次審査用の全紙サイズにプリントし直そうとしたところ、手元にごく小さい（数百キロバイト程度）画像データしか残っていなかった」というケースが増えています。

全紙に伸ばすためには、最低でも2～3MB（メガバイト）の大きさがが必要です。したがって、一次審査に応募する前に、十分な大きさの画像データが手元に確実に残っていることを、顧問の先生が必ず確認してください。

- ☐ 「同じ場所で、同じ時間に、同じ被写体を、同じように撮っている写真」を複数点出品することは避けてください。近年増えてきたケースです。おそらく「どちらを選べば良いか分からず、どちらとも出品してしまった」ということだと想像しますが、自分の写真をセレクトすることも「写真力」の一部です。

この件については、同一生徒が撮った写真だけでなく、「別々の生徒が撮った写真」であっても同様です。

- ☐ 応募票には必ず、各校で作品番号をご記入ください。また、作品番号は、メールで提出する「出品作品一覧」（Excelファイル）の番号と一致させてください。正確な記入がないと、審査に支障を来します。

- ☐ 応募票の「学校名」欄については、記入を各校で統一してください。審査終了後に、応募作品を学校別に仕分けしています。その作業をスムーズにするため、ご協力をお願いいたします。そのため、先に各校で統一した形で「学校名」欄を作成した後の応募票を、必要枚数コピー（印刷）してください。

- ☐ 全ての生徒作品の内容に目を通し、また、応募票の記載に間違いがないかどうか確認した後に、顧問の先生ご自身の手で各作品裏面の応募票への押印をお願いします。押印がない作品は、審査対象から外します。

- ☐ 提出の際、写真プリントを1枚ずつ袋に入れたり、間に紙を挟んだりしないでください。プリント面の保護のためのご配慮だとは思いますが、審査の際に手間がかかってしまいますのでご遠慮ください。

また、同じ理由で、写真プリントの表裏の向きは全作品同じ向きにしてください（表と表を向かい合わせにしない）。

その他、ご不明な点があれば、お気軽にメールでお尋ねください。 写真専門部事務局長 川野 祐一（博多青松高校）



写真部の大会に応募する生徒の皆さんへのお願い

福岡県高文連 写真専門部

大会に応募するには、以下の点に注意してください。

① 十分な大きさ（最低でも2～3MB）の画像データが手元にあること

スマホの画像データを、LINE などを通して他の機器に転送する際、データ量が小さく（例えば数百KB くらいに）なってしまふことがあります。転送の際にデータが圧縮されてしまふからです。



小さくなってしまった画像データでも、A4サイズであれば何とか印刷できます。しかし、**一次審査を通過した作品は「全紙」という大きなサイズに印刷し直さなければなりません**。小さいデータを大きなサイズに伸ばすと、当然、ひどい仕上がりになります。圧縮される前の「撮影したままの画像データ」が残っていれば、それを使えば良いのですが、残っていない場合は打つ手がありません。

したがって、**一次審査に応募しようと思う写真については、最低でも2～3MB 程度の大きさのデータが手元にあることを確認してから、出品してください**。（スマホだけでなくカメラでも同様です）

特に、スマホとプリンターをワイヤレスでつないで印刷する場合は、スマホに小さなデータしか残っていないことに気づきにくくなります。十分に注意してください。

② 作品タイトルは、短く、簡潔に

近年、文字数が多くて、凝ったタイトルが増えてきました。一般にはあまり使わないような難しい言葉が使われたタイトルや、別の「何か」（流行っているお笑いネタなど）を知っておかなければ理解できないタイトルなどです。



しかし、**作品タイトルを付ける際は、凝り過ぎた表現は避け、できれば10文字以内くらいに短くまとめください**（その作品に「どうしても」必要な場合には、しかたがありませんが）。

理由は2つあります。1つ目は専門部側の事務的な理由で、作品の一覧表や、展示の際の「キャプション」（題名ふだ）などを作るときに困る、というものです。

2つ目の理由は、凝り過ぎたタイトルを付けると、**見る人を無駄に混乱させたり、その写真の見方を限定したりする**ことがある、というものです。そのタイトルがなければ、見る人それぞれ、いろいろな見方ができたかも知れません。「この写真は、こんな見方をしたい」という作者としての想いがあるのかも知れませんが、その写真には「あなたが気づいていない別の価値」が眠っているかも知れません。そして、審査員の先生方は、そうした「隠れた価値」を見つけ出すプロです。

「シンプルで、それでいてその写真の価値を高める」というようなタイトルを付けるのは本当に難しいものですが、タイトルを考えることも作品制作の一部です。

③ 同じ場所で、同じ被写体を、同じように撮った写真を複数応募しない

「どちらを選べば良いかわからない!」ということで、同じような写真を2枚、3枚と応募するのは避けてください。自分の写真をセレクトするのも「写真力」の一部です。

審査の席に皆さんの素敵な作品が集まるのを楽しみに待っています。がんばってください!

公印省略

8 福 高 文 連 写 真 第 6 号
令 和 8 年 8 月 2 6 日

関係学校長 殿

福岡県高等学校芸術・文化連盟
写 真 専 門 部 会 長
(福岡県立柏陵高等学校長)

令和 8 年 度 福 岡 県 高 等 学 校 芸 術 ・ 文 化 連 盟
第 4 1 回福岡県高等学校総合文化祭写真展について（通知）

高文連写真専門部の運営・活動については日頃から格段の御配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

標記の件について別紙要項のとおり開催いたしますので、御連絡いたします。

本件の問合せ先

福岡県高等学校芸術・文化連盟
写真専門部専門委員長 中村 和貴
福岡市南区柏原 4-47-1
福岡県立柏陵高等学校

TEL 092-566-3232

FAX 092-565-2109

**令和8年度 福岡県高等学校芸術・文化連盟
第41回 福岡県高等学校総合文化祭（県高文祭）写真展 実施要項**

：追加・変更点

- 1 主催 福岡県高等学校芸術・文化連盟、福岡県教育委員会 共催 久留米市教育委員会、柳川市教育委員会
- 2 後援 筑後市教育委員会、福岡県高等学校芸術科研究会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
- 3 日時 令和8年 12月12日(土) ～ 13日(日) 10:00～17:00 (最終日は16:00まで) **※今回は2日間です**
- 4 会場 久留米市美術館（旧石橋美術館）1階ギャラリー 福岡県久留米市野中町1015 電話 0942-39-1131
- 5 参加資格
福岡県高等学校芸術・文化連盟に加盟している学校の高校生及び高校生に該当する学年の生徒であること。
- 6 個人情報の使用に関すること
大会等の記録や報告書のため、福岡県高等学校芸術・文化連盟が定める個人情報を使用します。福岡県高等学校芸術・文化連盟の「個人情報の使用に関する承諾書」を所属校に提出して参加してください。
- 7 応募・審査・展示について
 - (1) 一次審査の応募規格
 - ① 撮影テーマは自由。単写真及び組写真で、応募点数は1人につき30点までとする。
 - ② **提出はA4サイズのプリントとする。**
 - ③ スマートフォンによる作品制作は、写真専門部としては推奨しないが、禁止はしない。ただし、スマートフォンで撮影する際は、画面の縦横比を16:9ではなく4:3にすることを心掛けること。(詳細は高文連 Web サイトで公開している「写真部 Tips その1『スマホは4:3で』」を参照)
 - ④ 一次審査を通過した作品は、二次審査に向けて全紙またはA3ノビサイズに伸ばすことになるため、十分な大きさ(最低でも2～3MB)の画像データが手元に存在することを確認してから応募すること。
 - ⑤ 画像の過度な加工は認めない。AIによる画像の生成や処理も認めない。撮影時にカメラ内でかける各種エフェクトについても、これに準じる。
 - ・認められない例：写っていた物を消す、写っていない物を付け加える、画面の一部だけぼかしたり色調を変えたりする など
 - ・認められる例：画像全体の濃度や色調を調整する（カラーのモノクロ化を含む）、一部を焼き込む など
 - ⑥ 組写真は2枚または3枚で構成する。複数生徒による組写真の共同制作は認めない。
 - ⑦ 組写真を構成する写真は縦位置か横位置のいずれかに統一する。また、縦位置写真は横一列、横位置写真は縦一列に組むこととする（右図の4パターンのみ可能）。作品プリントは裏からセロハンテープでつなぐこと。

1	2
---	---

1	2	3
---	---	---

1
2

1
2
3
 - ⑧ 作品プリントの裏面に応募票を、下端に題名票を貼ること（詳細については(9)・(10)を参照）。
 - ⑨ 作品のタイトルは簡潔に（**できれば10字程度まで**）。パソコンで入力できないような文字は使わないこと。
 - ⑩ 学校ごとに「参加申込書」（Wordファイル）と「出品作品一覧」（Excelファイル）を福岡県高文連のWebサイトからダウンロードすること。「参加申込書」はプリントアウトして公印を押印し、作品に添えて郵送すること。「出品作品一覧」は、電子データのままメールに添付して送信すること。

福岡県高文連のダウンロードページ <https://fukuoka-koubunren.jp/download>

 - ⑪ 原則として応募作品の返却は行わない。後日顧問会議等で返却することはあるが、紛失や破損・汚損の恐れは否定できず、作品の確実な保管までは責任を負いかねる。したがって、確実な返却を希望する場合は、応募時に「切手を貼った返送用封筒」を同梱するか、一次審査後1ヶ月以内に各地区提出先に取りに行くこと。
 - ⑫ 作品の制作にあたっては、肖像権・著作権に抵触しないよう配慮すること。
 - ⑬ 他のコンテストとの重複応募は厳禁する。ただし他のコンテストで入賞しなかった作品については応募できる。
 - ⑭ **過去のコンテスト（高文連のものも含む）の入賞作品と類似する作品（同じ場所、同じときに撮影した類似カット）や、他作品を模倣した作品も、応募しないこと。**

(2) 二次審査の応募規格

- ① 一次審査通過作品を全紙またはA3ノビサイズのパネル貼り(CPパネル)にして再提出する。このパネルがそのまま県大会の作品展で展示されることになるため、それを前提としたクオリティの作品製作を行うこと。
- ② 作品は、単写真・組写真ともに、パネル一枚に収める。
- ③ 作品は一次審査通過作品(A4プリント)と同一画面構成(トリミング含む)及び色調とする。二次審査出品作品のイメージが一次審査通過時から著しく変わった場合には、審査の対象としないことがある。

(3) 一次審査の提出先と締切 ※提出は顧問教員(写真部がない場合は代理の教員)が行ってください。

提出物	提出先	締 切
・ 出品作品一覧(Excel ファイル)	事務局長(川野)にメールで	10月30日(金) 17時必着
・ 作品(A4プリント) ・ 参加申込書(要公印)	各地区専門委員に直接または郵送で	

出品作品一覧(メール)の送信先 kawano-y3@fku.ed.jp 写真専門部事務局長 川野 祐一(博多青松)

作品と参加申込書の提出先(各地区専門委員)

福岡地区	古川 克也(城南)	〒814-0111	福岡市城南区茶山6-21-1
北九州地区	古野 富士子(敬愛)	〒800-0035	北九州市門司区別院6-1
筑豊地区	井尻 信哉(直方)	〒822-0002	直方市頓野3459-2
筑後地区	岡 徹志(八女)	〒833-0041	筑後市大字和泉251

※ 地区によっては、顧問会議で作品と参加申込書を提出する場合もあるので、各地区の指示に従うこと。

(4) 審 査

- ① 一次審査 令和8年11月6日(金) 福岡県立城南高等学校
全応募作品の中から180点を入賞作品として選ぶ。
入賞作品は、高文祭写真展に展示するとともに、写真専門部が作成する作品集に掲載する。
- ② 二次審査 令和8年12月11日(金) 久留米市美術館(旧石橋美術館) ※公開審査とする
パネル貼り(全紙またはA3ノビ)の入賞作品180点の中から、以下の各賞を選ぶ。
- ③ 表 彰 大賞10点、特選15点、準特選20点、入選135点
- ④ 審 査 員 荒巻 大樹 氏(九州産業大学 芸術学部写真映像メディア学科 講師)
丸尾 繁夫 氏(九州産業大学 芸術学部写真映像メディア学科 名誉教授)
三笥 真理子 氏(西日本新聞 編集局 報道センター) 以上50音順

(5) 全国大会への推薦

1・2年生の上位入賞作品の中から10点を令和9年度第51回全国高等学校総合文化祭(石川大会)に推薦する。1校1点とする。([いしかわ総文2027]のページ→<https://2027ishikawa-soubun.pref.ishikawa.lg.jp/>)

※ 作品が全国大会に推薦された場合、生徒自身も必ず大会諸行事(令和9年8月1日(日)～3日(火))の全日程に参加するものとする。したがって、全国大会の諸行事に参加する意志のない生徒は全国大会推薦の選考対象外とする。その生徒については、参加申込書の「全国大会の推薦」の欄の「辞退」を○で囲むこと。なお、全国大会推薦を辞退しても県高文祭写真展の各賞の選考対象から除外されることはない。

※ 全国大会の出品基準は「木製パネル貼り」であるため、全国大会に推薦された場合、県大会で使用したCPパネルとは別に、従来の木製マットパネルで制作し直すものとする(費用は各校負担)。

※ 全国推薦となった作品の他コンテストへの応募は厳禁とする。発覚した場合は、全国大会での受賞の取り消し及び作品集の再印刷代等の請求など、大きなリスクがある。

(6) 展 示 入賞180点に加え、本年度の九州大会県予選の大賞10点、特選20点を展示する。

(7) 表彰式 写真展最終日、展示会場において上位入賞(大賞・特選・準特選)の生徒に対して行う

(8) その他

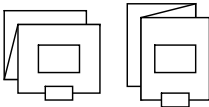
- ① 一次審査の結果については、翌日までに、応募に用いられたアカウント宛にメールを送信する形で通知する。
- ② 一次審査終了後、通過作品(A4プリント)を該当校に返送するので、これを元にして二次審査出品用の全紙またはA3ノビパネルを作成すること。
- ③ 一次審査を通過しなかった応募作品は、顧問会議や地区写真展等の機会に返却することもあるが、作品の確実な保管までは責任を負いかねる。それ以外のタイミングで返却を希望する場合は各地区専門委員のところまで引き取り

に行くこと。年度末までに引き取りがない場合は廃棄する。
 ※ なお、福岡地区については別途、専門委員（城南高校 古川）よりメールやFAXで連絡がある。
 （今回より、一次審査を通過しなかったA4プリントの返却については、「返却希望」であり、なおかつ、応募時に切手貼付の返送用封筒や着払いの送り状等を同封している学校にのみ返却をする予定）

- ④ 二次審査において期日までに提出なき時は、入賞を取り消すことがある。
- ⑤ 「県大会に出品する作品である」ということを念頭に置き、応募する作品を選ぶこと。また、顧問教員は、全ての応募作品に目を通し、「県大会に出品するに値する」と判断した作品のみを出品すること。
- ⑥ 入賞（＝一次審査通過）した場合は全紙サイズまたはA3ノビに引き伸ばすことになるため、ある程度以上の解像度が必要となることを考慮し、撮影時等の画像データのサイズに注意すること（一般に、数メガバイトは必要）。

(9) 応募票（一次審査）

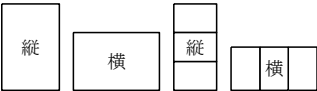
- ① 応募票は作品の裏に貼付する。組写真の場合、題名票と応募票は最後の写真に貼付し、折りたたんだときに外側に応募票が見えるようにすること。（右図参照）



- ② 作品番号は、メールで提出する「出品作品一覧」（Excel ファイル）の番号と一致させること。

- ③ 「フィルム・デジタルカメラ・スマホ」については、撮影で使ったものを○で囲むこと。

- ④ 「地区」「単・組」「縦・横」は、いずれかを○で囲むこと。「縦・横」は、単写真の場合は「縦長・横長」を、組写真の場合は組む方向を意味する。



- ⑤ 学校名は、1枚ずつ出品生徒に書かせるのではなく、学校全体で統一した形で記入または入力したものを、必要枚数コピー、印刷して使用すること。（作品返却のための仕分け作業のため）

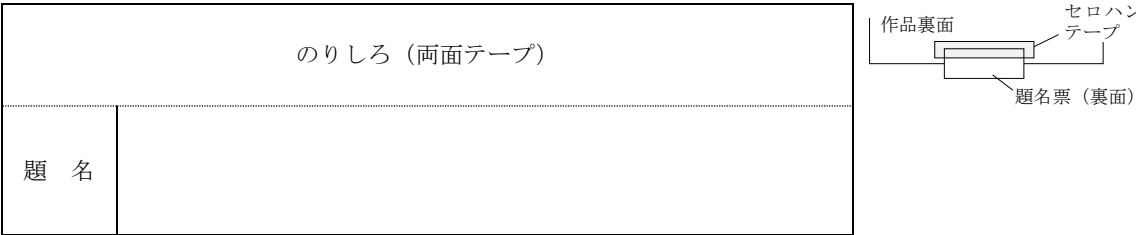
- ⑥ 貼付に際しては、作品を汚さないよう、両面テープかセロハンテープを用いること。セロハンテープを用いる場合は、めくれないように2辺以上を押さえること。

- ⑦ 顧問教員は、全ての応募作品に目を通して「県大会に出品するに値する」と判断した後、押印すること。

令和8年度 第41回福岡県高等学校総合文化祭写真展 応募票（一次審査用）				
推薦		大賞 ・ 特選 ・ 準特選 ・ 入選		一次通過
作品番号 (必ず記入) ※「出品作品一覧」の 番号と一致させる	題名	ふりがな		フィルム ・ デジタル カメラ ・ スマホ
地区 福 岡 北九州 筑 豊 筑 後	学校名	※学校名は、各校で統一した形で記入後に必要枚数コピーすること		顧問押印欄 印
	生徒 氏名			
				単 ・ 組 縦 ・ 横 年

(10) 題名票（一次審査）

題名が表から見えるように、作品（組写真の場合は最後の写真 ←(9)①の図参照）の下端に裏から貼付する。貼付の方法は応募票に準じるが、セロハンテープを用いる場合、1辺だけを押さえるとめくれるため、テープの長さを題名票よりも長くとりこと。



※応募票と題名票は、複数並べたものを高文連の Web サイトからダウンロードできます（URLは(1)を参照）。